

希望を叶えるために必要な空間とは？

令和7(2025)～8(2026)年度(予定)に鷺沼駅周辺に移転・整備する新しい宮前市民館・図書館の検討に向けて、第2回ワークショップを9月12日(土)に開催し、小学生からベテラン世代まで、延べ25人の方にご参加いただきました。

本ワークショップは、新しい施設で行われる事業や使用ルール等の柱を定める管理運営計画の検討にあたって、みなさんと一緒に考えたり語ったりする内容となっており、全9回を予定しています。このニュースレターでは、当日のワークショップの様子やいただいたご意見をお伝えしていきます！



新しい施設でやりたいことを実現するために必要なのはどんな空間？

今回のワークショップのテーマは「やりたいことを実現するための施設にするには？②」でした。

参加者の皆さんには、第1回目のワークショップで出た「新しい施設でやりたいこと」をもとに、実現するための「機能」と「仕様」について考えていただきました。

まずは、前回のまとめの資料を参考にしながら、部屋の規模や必要な備品についてのご意見を付箋に書き出していきます。

その後、グループ内で意見の共有を行うと、他の方の意見に触発されて新しい発想が生まれたり、イラスト付きの付箋について語り合うなど、活発に意見交換をする様子が見られました。

皆さんからのご意見は次のページに続きます。



「機能」と「仕様」って？

「機能」は、〇〇ができる場所・空間、
「仕様」は部屋の広さや備品などの細かい部分のことです。2つの例で見ましょう。

例1

やりたいこと：バンドの練習
機能…楽器が演奏できる場所
仕様…防音、5~6人収容、ドラムセット、アンプなどの備品

例2

やりたいこと：PCを使用して仕事
機能…静かで落ち着いた空間
仕様…仕切りのある個人ブース、机、椅子、電源、Wi-Fi、印刷機など

新しい施設で「やりたいこと」から一歩踏み込んで、実現するための「機能」と「仕様」を考えることで、「機能」が重なる空間は共用にして、スペースを有効活用をするなどのアイデアも生まれてきそうです。

やりたいことを実現するための「機能」、「仕様」とは？

今回のワークショップは、計5チームに分かれ、やりたいことを実現するための「機能」、「仕様」について、意見を合いました。どのチームもたくさんのアイデアが出て、みなさんが活発に意見交換をされている姿が見られました。

みなさんのご意見のうち、「機能」について、複数の場所・エリアで共通する要素としては、「市民の文化活動の紹介（絵や

活動紹介）」や「デジタルものづくり工房」のような創作活動に関すること、「勉強・仕事の適度な個室空間」や「調べもの、パソコン利用できる場所」のような個人利用に関するご意見が挙がりました。また、仕様については、◎館内Wi-Fi、◎3Dプリンターなど、時代の流れに対応した備品や設備へのご意見が多く出ました。今回は、前回のワークショップで出た

「やりたいこと」を実現するためにどんな機能や仕様が必要か、という点について検討したことで、より施設のイメージが具体的にになりました。

今回のワークショップでは、「宮前区らしいスタイルの市民館・図書館」についてご期待ください！

場所・エリア	種別	機能	仕様
ホール	イベント	劇や音楽など多目的に使えるホール	せり上がる舞台、移動できる椅子、照明、映写機など、幕
		市民によるイベント、近所の音楽家が出演	マイク、防音の部屋、椅子、机、50~80人定員
	雰囲気	天井を高く、色合いを明るくする	
	客席		座りごこちのいい移動客席
ギャラリー	規模	ハードルを低く作品を展示していいスペース	ギャラリー（小） 広さの異なるギャラリーが複数ある
	展示	市民の文化活動の紹介（絵や活動紹介） フロンターレに関する情報提示（・前/次の試合情報、選手の情報）	
保育	スペース	安心できる明るい構造	子どもが転んでも大丈夫な素材を使った床、小さいジャングルジムなど体を動かせるおもちゃ
		幼児・小さい子が遊べるスペース	明るい色の構造、柔らかい素材
		幼稚園や保育園の子どもたちが遊べる場所	ちょっとした遊具
	サービス	本を探している間など短い時間子どもを預かってくれる	
多目的・会議・教養	創作	デジタルものづくり工房	3Dプリンター、レゴ、マインドストーム、PC
	練習/収録	いろんな人ともものづくりながら交流できる場所	カッター、はさみなどの工作器具
		バンドができる音楽室に中学生高校生優先タイム（割引）をつくる	ギター、ドラムセット
		音楽室兼収録室、動画の収録ができる	
図書館	学習	調べもの、パソコン利用できる場所	Wi-Fi
		閲覧スペースを広くする（学習スペース） 静かなところ、話せるところ2つのスペース	机と椅子を増やす
	子ども向け	読書スペース（子供用） 床に座って読める	すみっこをたくさん作る、 段差や壁を多めにしたスペース
	案内	レファレンスコーナー、気軽に使える	
新規・拡充	居場所	中高生の居場所、部活で行っていることや自分の趣味を同じ年代の人と共有	広いスペース、スポーツ用具
		子どもの居場所、 緩やかな見守りができるスペース	ICT機器、机、いす カウンター（大人が常駐する）
	仕事/勉強	勉強・仕事の適度な個室空間	フリーWi-Fi
	自然	植物を育てる、いろんな人と一緒にインゲンやトマトなどを育てることができる場所	スコップ、植物のたね、じょうろ
その他	屋外活用	屋外イベント用道具セット倉庫、出し入れ簡単	椅子、机、掃除道具、マイク、スピーカー、ロープ
		ドッチボールなどのボール遊び、ただの芝生しかないところ、サッカーコートがある場所	サッカーコート、ボール
	スペース	共用スペース ロビーとして使ったり、机を置いておけば、閲覧や勉強に使えるスペース、仕切りをしない空間	
	サービス	自由に使えるPC+持ち込み可能とする	全館Wi-Fi

まだまだ掲載しきれないほど、たくさんのご意見をいただきました。ありがとうございました！

なんでもアンケート

ワークショップ終了後に参加者の皆さんからいただいた感想・ご意見をご紹介します。



中学生、高校生、大学生も混じえて話すことができ、新しい視点があってよかった。前回よりも機能や仕様を考えることで具体的にイメージすることができた。

初めての参加だったけど、上手くグループの意見をまとめられて良かったです。また参加できる機会があったら、参加させていただきたいです。



おもしろかったです。前回の意見を深めてもっといい意見にしたい！と思えた回でした。

立場、年齢で言うことが違い、とても面白かった。



今後のワークショップ

第6回までの日程が決定しました！

回	日付	場所	テーマ
3	10月3日（土）	土橋小学校	宮前区らしいスタイルの市民館・図書館を考える 済
4	11月7日（土）	土橋小学校	「行きたくなる」を考える ～年間スケジュールを考えよう～
5	12月5日（土）	土橋小学校	みんなのためのルールを考える①
6	1月16日（土）	土橋小学校	みんなのためのルールを考える②

今回のワークショップは来年の3月まで行われ、全9回を予定しています。（傍聴可）

お問合せ

〒210-0004 川崎市川崎区宮本町6番地 明治安田生命川崎ビル3階
川崎市教育委員会事務局生涯学習部生涯学習推進課
TEL 044-200-1981 FAX 044-200-3950